

2026 年 2 月 6 日 第 3541 回例会

於： 横須賀商工会議所

<点 鐘・開会> 12:30 山 下 会 長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<誕 生 月 祝> *上 林 茂 (S. 6) *木 村 一 郎 (S. 45)
 *鈴 木 隆 裕 (S. 45) *池 田 亨 (S. 44)
 *鈴 木 康 仁 (S. 26) *八 木 達 也 (S. 41)
 *齋 藤 隆 (S. 23) *浅 葉 孝 己 (S. 29)
 *江 口 浩 道 (S. 36) *E. Rogers (S. 33)



各会員



<入 会 月 祝> *北 村 理和子 *高 橋 隆 一 *瀬 戸 映 男
 *小保内 洋 子 *萩 原 英 恵 *井 上 智 史

各会員



<前田ガバナーノ ミニー説明>

*R I 細則変更・地区大会の意義・今後の方向性について

<会 長 報 告> *ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ 2月1日より1ドル156円⇒154円

・2026-27年度地区役員・委員会委員（正副委員長含む）

ご就任委嘱の件について

敬称略

地区諮問委員会/地区指名委員会/パストガバナー	委員	小佐野圭三
ガバナーエレクト	委員	前田 長生
オンツー国際大会委員会	委員長	
ガバナー補佐/オンツー国際大会委員会	委員	高橋 隆一

<委 員 長 報 告> *雑誌委員会 江口副委員長よりロータリーの友2月号

*出席委員会 浅葉委員より1月出席率報告 1月平均出席率 66.98%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
1月9日	113名	105名	76名(3名)	29名	4名	76.19%
23日	113名	101名	69名(1名)	32名	1名	69.31%
30日	113名	101名	52名(1名)	49名	4名	55.45%

<幹事報告> *2026-27年度版『ロータリーの手帳』注文について
*例会終了後歴代会長アンケート説明会開催(306研修室)

<出席報告> *出席委員会 浅葉委員から2月6日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
113名	106名	71名(4名)	35名	1名	67.92%

メイクアップ:新倉会員 横須賀南西RC例会出席

<ニコニコ報告>

- ・上林、木村、池田、八木、浅葉、江口、Enora 各会員 誕生月祝いとして
- ・北村、高橋、瀬戸、小保内、萩原 各会員 入会月祝いとして
- ・平松 会員 入会月(10月)として
- ・三 役 川名会員、本日の新会員卓話宜しく願いいたします。楽しみです!
- ・木村、石田、高橋、柴田、真野、森、江沢、江口、渡邊、八木、佐久間、長尾、飯塚、梁井、濱田、杉浦、小林、小佐野、萩原、角井、前田、高橋、齋藤、澤田、鷺尾、平松、三堀、杵渕、田中、兼城、池田、椿、瀬戸、小保内 各会員
本日は川名会員による新会員卓話です。とても楽しみにしています。よろしく願いいたします。
- ・川名 会員 いつもお世話になっております。先日の職業体験本当にありがとうございました。一部の生徒が元気過ぎたようでご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。本日は遅ればせながら新会員の卓話をさせていただきます。つたない話になると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・4番テーブル根岸マスター 江口サブマスター 2月2日(月)、つきじ植むら旬泉坊にて2番テーブルミーティングを開催いたしました。ご参加いただいた山下会長、鈴木副会長、比護SA A、三宅さん、テーブルメンバーの皆様ありがとうございました。根岸マスター差入れの美味しお酒と料理、皆様との会話が大変盛り上がりしました。ご出席頂きました皆様ありがとうございました。
- ・浅葉、佐久間、鈴木、徳永、八木、吉田、比護 各会員
2月2日(月)、2番テーブルミーティングを旬泉坊にて開催されました。美味しい料理と楽しい会話で、かなり盛り上がりました。根岸マスター、江口サブマスター、美味しいお酒の差し入れ、話題作りの金貨のチョコのお菓子ありがとうございました。
- ・小佐野、飯塚、椿 各会員 上林会員 お帰りなさい
- ・上林 会員 前田さん、土田さんの適な御処置により、例会に出られるようになりました。これからもよろしくお願いいたします。
- ・大野、堀川、木村、加藤、濱田、角井、高橋、三井 各会員いよいよ今日よりミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開幕します。8競技116種目と17日間の熱戦が繰り広げられます。楽しみです。
- ・小山、野坂、高橋、笠木、石川、比護 各会員
メルキュール横須賀19階レストランにて横須賀生まれの苺とSAKURAがきらめく「Very Berry! 苺とSAKURAでときめく春のアフタヌーンティー」というイベントを行っています。「絶品すぎる! YOKOSUKAのハーフランチ・ブッフェ〜冬のフランスグルメフェア

～」も行っているので、お出かけになられたらいかがでしょうか。

＜新会員卓話＞

川 名 稔 会 員

2024年5月31日に故小澤一彦氏の推薦で入会させていただきました川名稔と申します。よろしくお願いいたします。現在、学校法人横須賀学院の理事長・学院長を仰せつかっています。また、日ごろから本校児童・生徒がお世話になりありがとうございます。横須賀学院は1950年に創立した小中高併せ持つキリスト教教育を实践する私立の男女共学校です。今年76年目を迎えています。児童生徒数は約2000名、教職員数は約200名おります。建学の精神は「敬神愛人」、神を敬い隣人を自分のように愛するという基本精神です。ただ、キリスト教学校と行っても、特にキリスト教を強制するわけではなく、毎日の礼拝、週に1時間の聖書の時間を通じ、「共に寄り添い、いかに生きるのか」を問いかけて続けます。クリスチャンが特に多いわけでもなく教職員で約2割程度、児童・生徒も1クラスに1～2名いるかいないかという現状です。私自身も一応洗礼を受けておりますが、あまり熱心ではなく反省している日々です。小学校は、小規模ではありますが、大変良い教育をしており、ハンドベルで地域奉仕や車いす体験、また台湾の大村（ダーツン）小学校と姉妹校提携を結んでいます。中学校・高等学校は人数も多く、文武両道を目指しています。キリスト教青年会、生徒会、聖歌隊、ボランティア部が中心となり地域貢献も行っています。今年度、キリスト教青年会が「全国社会福祉大会」において長年の募金活動が評価され、「厚生労働大臣表彰」を受けました。60周年を記念して約1100名収容できる大チャペル、約200名収容の小チャペルが建設され、70周年時には、カフェテリアを建設、また、チャペルにはドイツ「カールシュッケ社」のパイプオルガンが設置されました。どうぞお時間があるときにはお越しく下さい。



簡単に自己紹介をいたします。1958年生まれで、双子座、血液型はO型です。性格は大雑把でちょっといい加減、、、少し、、、かなりいい加減と自覚しています。また、どちらかというと楽観的、嫌なことがあっても一晩寝れば忘れてしまいますというおめでたいタイプです。そして、教師の割には意外に上がり性で目立つのはあまり好きではありません。趣味は50前半とそのあとではちょっと異なります。若い頃から50歳位までは、野球、サッカー、スキー、水泳、ボーリング、ドライブ、南国への旅行など比較的アクティブでした。ただ、どれも突出したものがなく、全てそこそこ止まりで、特にゴルフ、音楽的センスは全くありません。50歳過ぎてからは病気を患い、それから音楽、映画鑑賞、相撲観戦、駅伝の応援、穏やかな旅行などが主な趣味になりました。お酒は大好きで、ほぼ毎日飲んでいますがあまり強くはなく、ホッピーなら1セット、ビールは1.5ℓが限界で、時間も3時間経つと眠くなってしまいます。家族構成ですが、妻と一男二女、孫が4人います。比較的近くに住んでいるのでよく集まりますが、上のお姉ちゃん2名は最近あまり相手にしてくれません。下のメンズ2人は活発で「戦いごっこ」を強要され、ちょっと疲れますがいい運動になっています。生い立ちです。生まれは東京都新宿生まれ。歌舞伎町の近くで生まれました。環境が悪く、母親が将来を心配して2歳の時、藤沢市辻堂に転居しました。今はテラスモールなどができ賑やかになりましたが、当時は田んぼや畑、砂浜と松林に囲まれた閑静な土地で、家もまばらな自然の中で2歳から小学校6年まで過ごしました。小さい時から野球ばかりやっており、空き地を見つけては野球三昧、人数が足りない時は三角ベース野球で遊んでいました。5年からはサッカーにも力を入れ、市で優勝したりもしましたが、自分自身はたいしたことはありませんでした。中学入学直前に新宿の百人町というところに転居しました。新宿と高田馬場の間の新大久保駅というところで、当時は商店街があり人情味ある街でしたが、今は韓国街となりました。中学校時代は、野球、サッカーをやりながらゲームセンターばかりに通い、勉強はあ

まりませんでした。高校は野球かサッカーどちらにしようか悩みましたが、やはり甲子園を目指し野球をすることに決め、野球の強豪校を目指しましたが、様々な手違いで別の学校に入学しました。気を取り直し頑張りましたが、足の速さと守備範囲の広さのみの平凡な選手でした。多分、打率も3割は打っていないと思います。大学に入学して野球部に入部しましたが、すぐに戦力外通告を受け、学生コーチを勧められました。理由はノックができるからということでした。高校時代監督がいない時にはいつも自分がノッカーで、これだけは自信が確かにありました。悩んでいる時に母校の監督依頼の話がありました。やはりノックできるからという理由でした。悩んだ結果、母校の監督になることになりました。指導はスパルタ指導でしたが、選手たちはよくついてきてくれ楽しい日々でした。特に最後の大会ベンチ入りできない3年生の献身的な姿に感動を受け、卒業後は、教師になって高校野球の監督になりたいという夢を持ちました。その後、初めて真剣に勉強し教職免許を取得し、1981年、横須賀学院に奉職。最初は中学校の野球部でしたが、26歳の時、念願の高校野球監督に。60歳まで監督、部長を務めました。いわば、高校野球の監督がやりたいために教師になったようなものです。ただ、一般の生徒たちも大変可愛く教師になって良かったとつくづく感謝しています。印象、思い出に残っていることはたくさんありますが特に上げると、夏の甲子園予選の4回戦で強豪慶應義塾高校と対戦し延長の末勝利を収めたこと。2つ目は秋の県大会3回戦で最終回まで10対0で負けていて、最終回の9回に迫につき延長戦で勝った試合。そしてやはりベンチ入りできなかった3年生が献身的にチームのために尽くしてくれたこと。それから、私が還暦を迎え監督を退いたときに色々の代の卒業生たちが祝賀会を開いてくれたことなどです。本当にいままで、生徒や選手をはじめ、周囲の人たちに恵まれ支えられてきたと感謝しています。

最後に私が45年間の教師生活、36年間の野球部監督・顧問として、生徒や選手たちに語り続けてきた言葉は、どんな苦境の時も『焦るな、腐るな、諦めるな』ということ。そして、『年中夢求』常に夢を持ち続けること。教師たちには『3つのワーク』ネットワーク、フットワーク、チームワークを大切にしよう、ということです。これから先、いつまで現役かはわかりませんが、常に感謝の気持ちを忘れずに、何事も誠実に取り組んでいきたいと思っています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 山下会長

週報担当 柴田朋彦